

RESAS

を分析してみよう

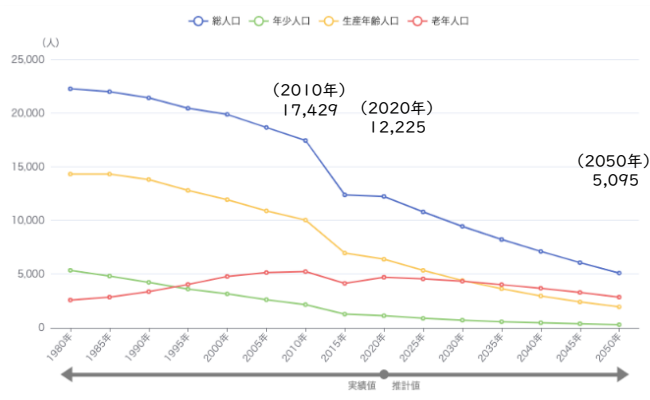
宮城県 本吉郡南三陸町

RESAS(地域経済分析システム)は、地域経済に関する様々なデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)をグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



年齢別人口推移

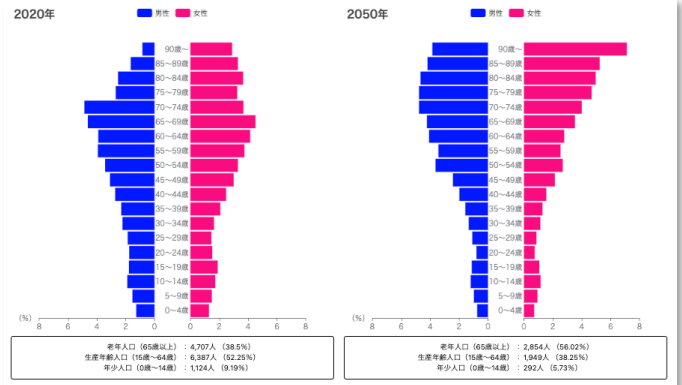
2020年の人口は総人口12,225人。10年前(2010年)の17,429人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口はゆるやかな減少であり、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

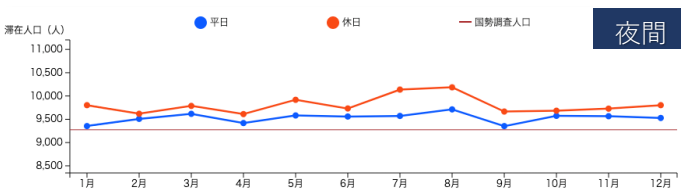
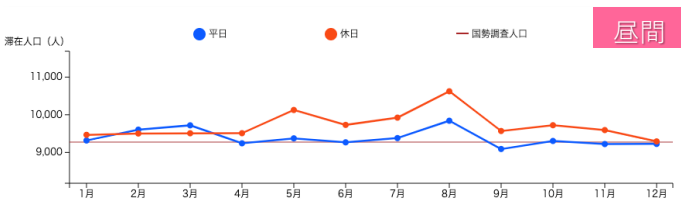
*人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の38.5%から2050年には56.02%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の52.25%から38.25%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



*まちづくりマップ→滞在人口率

滞在人口

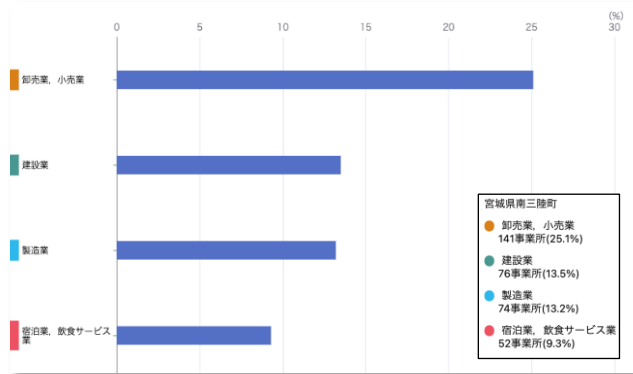
(2022年、上:昼間、下:夜間)

携帯電話の位置情報を元に、町内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。昼間夜間共に、休日の滞在人口が平日よりも多い。休日は町外への流出人口より、町外からの流入人口が多いことがわかる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータ

産業構造

事業所数(事業所単位):562事業所



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



*産業構造マップ→全産業→事業所数

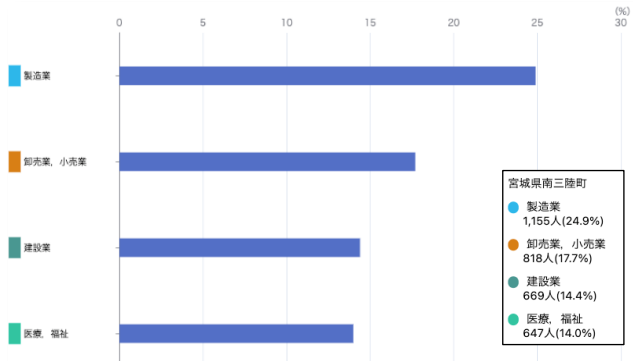
事業所数(事業所単位)大分類(2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の141事業所で、全体の25.1%を占めている。その後「建設業」の76事業所13.5%、「製造業」の74事業所13.2%が続く。

事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2021年は562事業所。5年前の2016年は492事業所だったので、比較すると14.2%増加している。

従業者数(事業所単位):4,632人



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



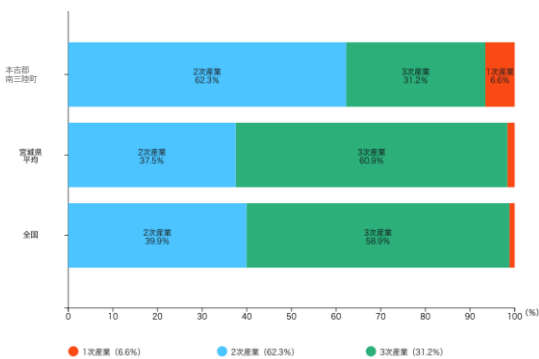
*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

従業者数(2021年)

業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「製造業」の1,155人で、全体の24.9%を占めている。その後「卸売業、小売業」の818人17.7%、「建設業」の669人14.4%が続く。

従業者数の推移

従業者数の推移を見る。2021年は4,632人、5年前の2016年と比較すると6.8%増加している。



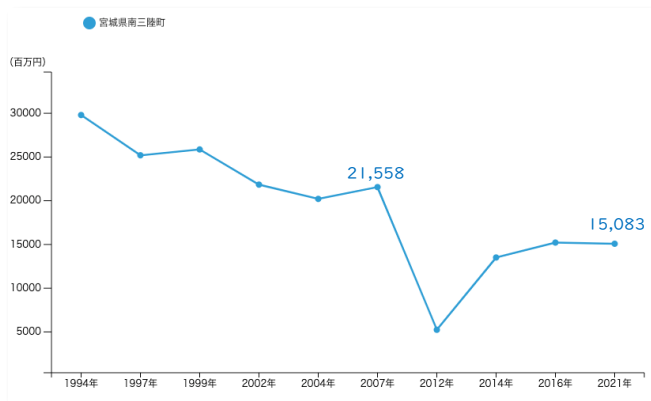
*地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

本吉郡南三陸町の産業の構成割合を全国および宮城県と比較したグラフである。2次産業の割合が62.3%であり、全国の39.9%と比べて高い。一方、3次産業の割合は、31.2%と全国の58.9%に比べて低い。

- *1次産業・・・農業、林業、漁業など
- *2次産業・・・製造業、建設業、工業など
- *3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

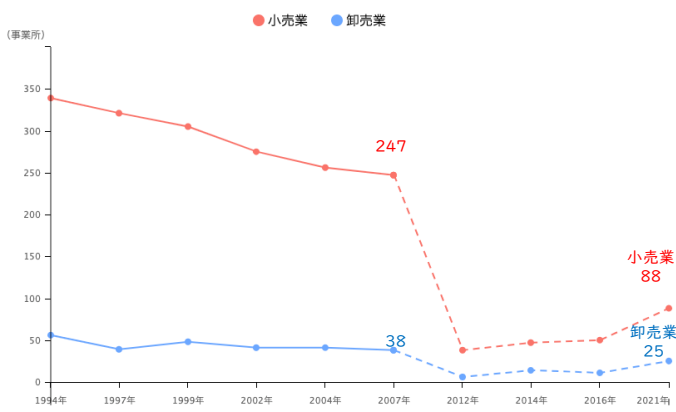
事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業88事業所、卸売業25事業所である。2007年と比較すると、小売業は64.4%減、卸売業は34.2%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

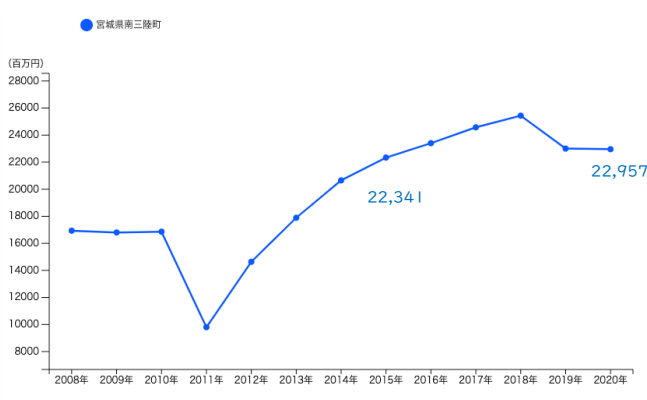
年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は15,083百万円である。14年前の2007年と比較すると21,558百万円なので、30.0%減である。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

製造業



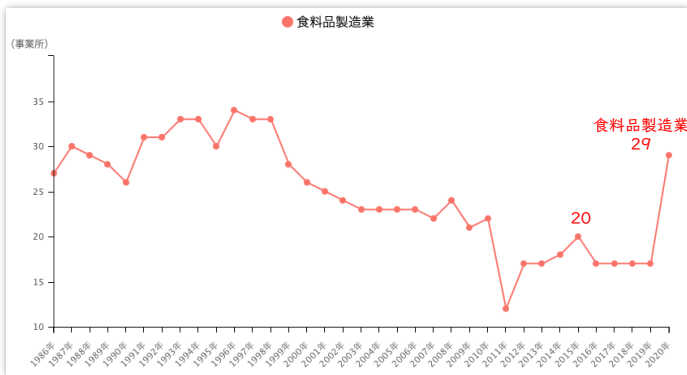
*産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。2020年製造品出荷額等は、22,957百万円である。2015年と比較すると22,341百万円なので、2.8%増である。

事業所数(主要製造業)の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。食料品製造業は2015年と比べると、増加している。



*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

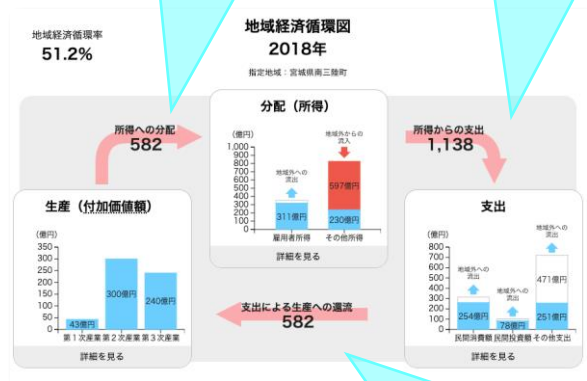
地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

①本吉郡南三陸町の企業は合計582億円の付加価値を生み出している。

②付加価値のうち、支出に回されるのは、1,138億円。町外からの流入があるので、付加価値額を上回っている。



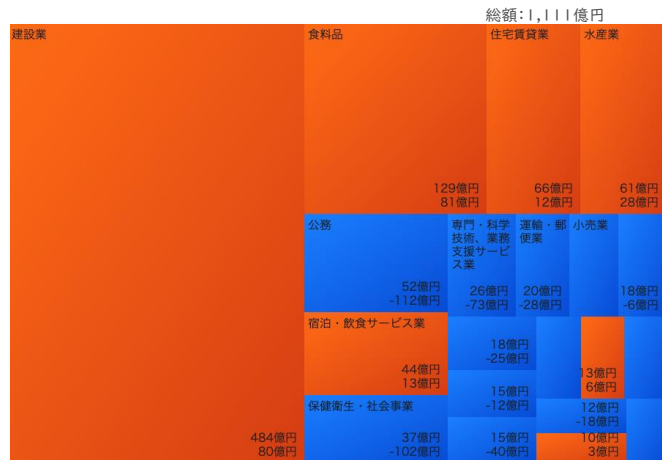
*地域経済循環マップ→地域経済循環図

③町内で支出に使われた金額は582億円。町外への流出があるため1,138億円より少ない。

生産分析 (2018年)

左図の「生産(付加価値額)」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が高いのは「建設業」「食料品」「公務」である。

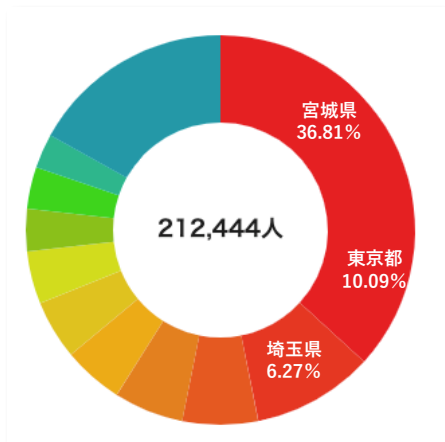
なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業(赤色)と地域外から必要としているものを調達している産業(青色)を表している。



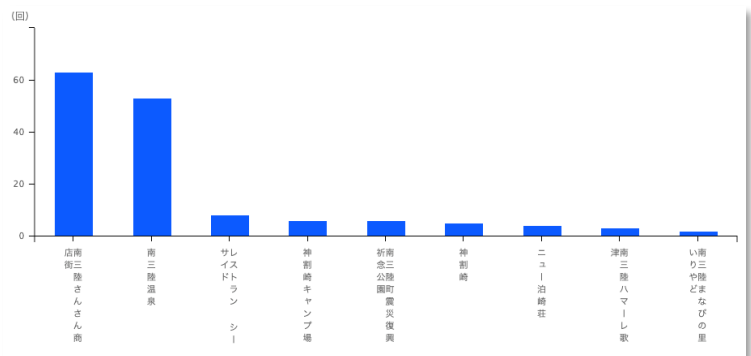
*地域経済循環マップ→生産分析

上図以外の付加価値額の合算: 36億円

観光



*観光マップ→From-to分析(宿泊者)



*観光マップ→目的地分析

From-to分析 (宿泊者) (2022年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合を示したグラフである。宮城県が36.81%ともっとも多く、東京都10.09%、埼玉県6.27%が続く。

目的地検索ランキング (2023年3月 休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「南三陸さんさん商店街」「南三陸温泉」「レストラン シーサイド」の検索回数が多い。

発行: 南三陸商工会

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田14-27

TEL: 0226-46-3366 FAX: 0226-46-5335

URL: <http://www.m-shokokai.com/>

